

ストラタステクノロジー社

## ネットワーク上のサービスを統合して 次世代に向けたサービスを創出する ストラタスの「CPSソリューション」

創立以来、無停止型コンピュータ・システムの開発と製造・販売に注力してきたストラタステクノロジー社は、テレコム市場向けソリューションにおいて、全世界の通信事業者から高い評価を獲得してきた。ここでは、2005年11月に来日されたストラタステクノロジー社 米国本社 テレコム担当副社長であるAli Kafel氏に、今日のテレコム市場の動向と、同社が新たに展開している「CPSソリューション」の概要について伺った。



BStratus Technologies, Inc.  
Vice President  
Telecommunications  
Ali Kafel氏

昨今のテレコム市場を取り巻く状況を、どのように捉えていますか。

**Ali Kafel氏（以下、AK）** 昨今、サービスプロバイダーと加入者は、複雑な問題の両側で対峙しています。例えば、複数のサービスや複数の電話を使用するようになった加入者は、どこからでも同じサービスとコンテンツに簡単にアクセスできることを求めています。また、在宅ユーザーや企業ユーザーによるVoIPの採用も増えており、加入者が固定電話、携帯電話、IP接続のどれを使用するかにかかわらず、共通のサービスにアクセスできることが求められています。

しかし今日の利用状況では、このニーズを満たすことはできません。ユーザーは、固定電話、携帯電話、VoIP、VoWiFi、そして間もなく登場するVoWiMAX網の間で、同じサービスを

共有することができないのです。また、同じような通話プランとサービスを提供するプロバイダーにより、市場は飽和状態にあり、コストが増加しています。そして、価格への強い要求と増え続ける加入者の変動は、今や業界全体のジレンマになっており、ARPU (Average Revenue Per User) は落ち続けています。このようなビジネス上の要求が加入者の動向や期待の変化と相まって、現在、ネットワークに依存しないシームレスなサービスを導入する方法が求められているのです。そして、テレコム市場をこのように分析すると、どこに市場機会があるかが見えてきます。

**ストラタステクノロジー社では、どこに市場機会があると捉えていますか。**

**AK** 今日のテレコム市場でのビジ

ネスを拡大するキーワードとして“Convergence（融合）”という言葉あげることができます。前述した市場機会とは、ユーザーがネットワークや端末にかかわらず、あらゆるデータにアクセスし、あらゆるサービスを使用できることを可能にするソリューションを提供すること。つまり、音声およびデータのルーティング、コンテンツの単一化、個人情報およびメッセージングの統合を含めた“融合”を可能にし、それをIMS (IP Multimedia Subsystem) へと発展させることです。

現在、当社がテレコム業界に向けて展開している「CPS (Converged Personalized Services) ソリューション」(以下、ストラタスCPS)のコンセプトは“融合”です。異なるネットワークにわたる、さまざまなサービスやコンテンツの統合を容易に実現することです。

ストラタスCPSが可能にすることや、ビジョンなどをお聞かせください。

**AK** ストラタスCPSを利用することで、さまざまなネットワーク上のサービスが統合され、固定電話、携帯電話、ホットスポット、DSL、ケーブル網などにまたがるサービスが可能になります。また、サービスプロバイダーのネットワークにストラタスCPSを実装することで、ユーザーはメッセージおよびコンテンツ情報を融合できるようになり、加入者はコールをルーティングする方法を柔軟に設定、管理できるようになります。そして、IMSに発展させる、または先進的な仕様である3GPP Release 5とそれ以降に発展させることで、収益を産む新サービスを提供できるようになります。

図1は、ストラタスCPSのビジョンを表したものです。ルーティング／コンテンツ／メッセージ／個人情報の融合という4つの方向性を包括したストラタスCPSにより、利用するネットワークアーキテクチャ

に依存せずに、ユーザーに同じレベルの使用感を提供するサービスを提供できるようになります。

ストラタスCPSを導入することで、例えばどのようなサービスが可能になりますか。

**AK** ストラタスCPSにより、次のようなサービスが期待できます。

まず、加入者が予定表に会議をスケジュールすると、それがネットワークと同期され、スケジュールした会議中にコールを受信すると、音声メールに直接ルーティングされます。また、加入者がアドレス帳にVoIPフォンのSIP URLを入力すると、その連絡先の携帯電話が使用できないときには、SIP URLを使用して連絡先のVoIPフォンに通話がルーティングされます。

次に、携帯電話加入者のメールボックスに音声メールが配信されると、「message waiting」などの通知メッセージがその利用者のリポジトリに追加され、利用者の端末やショートメッセージ経由ならば携帯電話へ、

IM経由ならばIP端末へ同期がとられます。そして、コールが音声メールにルーティングされたにもかかわらず、発信者が音声メッセージを残さなかったときは、「missed call（不在着信）」などのテキストメッセージが加入者のリポジトリに追加され、前記と同様に同期がとられます。

ストラタスCPSは、どのようなソリューションで構成されていますか。

**AK** 主要プロトコルINAP、CAP、AIN、WIN、MAPと次世代のプロトコルSIPとの間でプロトコルの変換を行う「ISSG（Internet Service Signaling Gateway）ソリューション」、携帯電話網とVoIP、携帯電話サービスとIP-PBX間、家庭と企業のVoIPやVoWiFiなどの融合を可能にする「MCC（Mobile Call Convergence）ソリューション」、そして情報の同期、共有を実現する「C-WAS（Converged Wide Area Synchronization）ソリューション」などで構成されています。このストラタスCPSを利用することで、既存のインフラに手を加えることなく新しいサービスの提供が可能になり、少ない投資でARPUを改善し、加入者の変動を削減することができます。

●ルーティングの融合	—	さまざまなネットワークに接続されている、さまざまな端末を使用した音声、データ、およびビデオの配信
●コンテンツの融合	—	さまざまなネットワークに接続されている、さまざまな端末に対する冗長化されたコンテンツの一元管理
●メッセージの融合	—	さまざまなネットワークに接続されている、さまざまな端末からのアクセスによる音声、ビデオ、およびテキストメッセージの一元管理
●個人情報の融合	—	さまざまなネットワークに接続されているプロフィール、さまざまな端末で使用されているプロフィール、さまざまなサービスのプロビジョニングによるプロフィールの一元管理

図1 ストラタスCPSのビジョン

日本ストラタステクノロジー株式会社  
〒102-0085  
東京都千代田区六番町6 勝永六番町ビル  
TEL：03-3234-5301  
FAX：03-3234-6733  
URL：http://www.stratus.co.jp